

平成 28 年 12 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)



平成 28 年 7 月 29 日

上場会社名 株式会社ペッパーフードサービス 上場取引所 東
 コード番号 3053 URL <http://www.pepper-fs.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 一瀬 邦夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 総務人事部長 (氏名) 猿山 博人 (TEL) 03 (3829) 3210
 四半期報告書提出予定日 平成 28 年 7 月 29 日 配当支払開始予定日 平成 28 年 9 月 8 日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成 28 年 12 月期第 2 四半期の業績 (平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28 年 12 月期第 2 四半期	10,284	49.9	449	114.3	445	110.8	236	164.9
27 年 12 月期第 2 四半期	6,860	91.5	209	32.2	211	34.9	89	△24.0

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28 年 12 月期第 2 四半期	24.26	23.93
27 年 12 月期第 2 四半期	10.00	9.81

(注) 平成 27 年 7 月 1 日効力発生日として 1 株につき 3 株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1 株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益金額を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28 年 12 月期第 2 四半期	7,782	2,493	32.0
27 年 12 月期	6,708	2,338	34.8

(参考) 自己資本 28 年 12 月期第 2 四半期 2,487 百万円 27 年 12 月期 2,334 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27 年 12 月期	—	15.00	—	10.00	—
28 年 12 月期	—	10.00	—	—	—
28 年 12 月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有
 2. 平成 27 年 7 月 1 日付で普通株式 1 株につき 3 株の株式分割を行っており、平成 27 年 12 月期第 2 四半期末実績につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成 28 年 12 月期の業績予想 (平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,200	43.2	937	23.1	928	22.0	488	18.6	49.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年12月期2Q	9,788,000株	27年12月期	9,755,100株
② 期末自己株式数	28年12月期2Q	63株	27年12月期	63株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年12月期2Q	9,767,002株	27年12月期2Q	8,949,789株

(注) 平成27年7月1日効力発生日として1株につき3株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策等により、雇用及び所得環境を改善し、景気回復が期待されておりましたが、中国を始めとするアジア新興国の景気が下振れし、先行きは不透明な状況で推移いたしました。また、英国のEUからの離脱決定に伴う急激な円高や大幅な株価の下落等もあり予断を許さない状況にあります。外食産業におきましては、引き続き人手不足の影響による人件費の増加や、他業種とのお客様獲得競争も激化しており、依然として厳しい経営環境が続いております。

こうした状況のもと、当社は「従業員に夢と希望を与え、お客様ご満足の最大化」を基本方針として、年間60店舗出店を目標にペッパーランチ業態及びいきなり!ステーキ業態の出店拡大に取り組むと共に、引き続きお客様への安心・安全な商品提供ができる体制強化に努めてまいりました。原材料価格の高騰により3月から一部商品の値上げを行ったものの、それを補う価値ある商品の提供により売上は好調に推移いたしました。

これらの結果、当第2四半期累計期間における業績は、売上高10,284百万円(前年同期比49.9%増)、営業利益449百万円(前年同期比114.3%増)、経常利益445百万円(前年同期比110.8%増)、四半期純利益236百万円(前年同期比164.9%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① ペッパーランチ事業

ペッパーランチ事業につきましては、年間20店舗出店を目標にスタートが切られ、4月に花畑牧場とのコラボレーション企画第2弾として「Wチーズバーコンペッパーライスキャンペーン」(4/22~6/2)、5月に楽天と提携し国内のペッパーランチ店舗にて「楽天ポイントカード」の利用開始とそれに伴う「楽天ポイント2倍キャンペーン」(5/1~5/31)を実施し、売上及び新規のお客様獲得に努めてまいりました。

また、平成24年11月から平成28年6月まで44ヵ月連続で既存店の売上高昨年対比100%超えを達成しております。

海外におけるペッパーランチ事業では、各店舗の売上は、引き続き好調に推移しており、新規出店に伴う機器等の売却、ロイヤリティ収入などの売上高は162百万円(前年同期比4.8%増)となりました。

この結果、当第2四半期累計期間における売上高は2,720百万円(前年同期比10.1%増)、営業利益は494百万円(前年同期比20.1%増)となりました。また、新規出店数は41店舗(うち海外31店舗)であり、ペッパーランチ事業全体の店舗数は375店舗となりました。

② レストラン事業

レストラン事業につきましては、既存店の売上及び利益の向上に努めてまいりました。また、ステーキ業態「炭焼ステーキくに」では、月に1回行われている異業種交流会「美味しいステーキを楽しく食べるタベ」の継続的な開催により、ブランドイメージの向上を図ってまいりました。

しかしながら、「牛たん仙台なとり」の売上が伸びませんでした。

この結果、当第2四半期累計期間における売上高は1,118百万円(前年同期比5.6%減)、営業利益は62百万円(前年同期比14.7%減)となりました。レストラン事業全体の店舗数は23店舗となっております。

③ いきなり!ステーキ事業

いきなり!ステーキ事業につきましては、年間40店舗出店を目標にスタートが切られ、5月に「目指せ!ランクアップ応援フェア」(5/16~5/24)、2015年の飲食業店舗売上高伸び率1位(日経MJ調べ)を記念しての感謝フェアとして「肉マネーのチャージボーナス3倍キャンペーン(チャージ額3,000円以上通常1%→3%、5,000円以上で通常2%→6%、10,000円以上で通常3%→9%)」(5/25~6/30)を実施し、売上は好調に推移いたしました。

この結果、当第2四半期累計期間における売上高は6,420百万円(前年同期比101.5%増)、営業利益は400百万円(前年同期比110.7%増)となりました。また、新規出店数は18店舗であり、いきなり!ステーキ事業全体の店舗数は95店舗となっております。

④ 商品販売事業

商品販売事業につきましては、「とんかつソース」、「冷凍ペッパーライス」及び「冷凍ハンバーグ」の販売に加えて6月には、家庭でも味わえる「いきなり!ステーキセット」のネット販売も開始し、売上向上並びに新規顧客の獲得を目指してまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間における売上高は25百万円(前年同期比32.2%増)、営業損失は1百万円(前年同期は0百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べて1,074百万円増加し、7,782百万円となりました。これは主に、現金及び預金が633百万円増加したこと、建物(純額)が438百万円増加したこと、預け金(流動資産・その他)が108百万円減少したこと並びに敷金及び保証金が66百万円増加したことによるものです。

負債合計は、前事業年度末に比べて918百万円増加し、5,289百万円となりました。これは主に、買掛金が92百万円増加したこと、借入金が559百万円増加したこと及び未払費用(流動負債・その他)が82百万円増加したことによるものです。

純資産は、前事業年度末に比べて155百万円増加し、2,493百万円となりました。これは、剰余金の配当により97百万円減少したこと、その他有価証券評価差額金が5百万円減少したこと、第7回ストック・オプションが発行されたこと及び第4回・第5回・第6回ストック・オプションの一部が行使や失効されたことにより、新株予約権が2百万円増加し、資本金、資本準備金がそれぞれ9百万円増加したこと及び四半期純利益を236百万円計上したことによるものです。また、自己資本比率は前事業年度末に比べて2.8ポイント減少して32.0%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末に比べて643百万円増加し2,243百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、852百万円(前年同期は819百万円の獲得)となりました。これは主に、税引前四半期純利益を440百万円計上したこと、減価償却費を206百万円計上したこと、仕入債務が92百万円増加したこと及び法人税等を180百万円支払ったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、702百万円(前年同期は941百万円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産の取得により596百万円の支出があったこと、敷金及び保証金の差入により136百万円の支出があったこと並びに敷金及び保証金の回収により44百万円の収入があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、493百万円(前年同期は789百万円の獲得)となりました。これは主に、短期借入金が66百万円増加したこと、長期借入れにより750百万円の収入があったこと、長期借入金の返済により256百万円の支出があったこと及び配当を97百万円支払ったことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年4月28日に発表いたしました通期の業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,640,635	2,273,994
売掛金	705,145	644,952
商品	118,907	122,427
貯蔵品	20,529	18,135
繰延税金資産	31,162	19,609
その他	484,987	438,306
貸倒引当金	△702	△544
流動資産合計	3,000,665	3,516,881
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,433,795	2,970,844
減価償却累計額	△473,916	△572,790
建物(純額)	1,959,878	2,398,054
その他	899,026	1,000,779
減価償却累計額	△490,188	△542,272
その他(純額)	408,838	458,507
有形固定資産合計	2,368,716	2,856,561
無形固定資産	63,470	60,580
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,169,772	1,236,214
その他	117,732	124,279
貸倒引当金	△11,438	△11,596
投資その他の資産合計	1,276,066	1,348,897
固定資産合計	3,708,253	4,266,040
資産合計	6,708,918	7,782,922

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,863,284	1,955,869
短期借入金	27,000	93,000
1年内返済予定の長期借入金	443,324	595,190
未払金	408,211	442,748
未払法人税等	180,525	212,351
役員賞与引当金	2,900	—
資産除去債務	9,758	2,109
その他	483,048	646,517
流動負債合計	3,418,052	3,947,787
固定負債		
長期借入金	432,513	774,491
受入保証金	385,577	410,242
繰延税金負債	12,975	—
資産除去債務	118,932	155,443
その他	2,409	1,445
固定負債合計	952,408	1,341,623
負債合計	4,370,460	5,289,410
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,254,340	1,263,606
資本剰余金	534,853	544,119
利益剰余金	544,904	684,294
自己株式	△62	△62
株主資本合計	2,334,035	2,491,956
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	100	△4,908
評価・換算差額等合計	100	△4,908
新株予約権	4,321	6,463
純資産合計	2,338,457	2,493,511
負債純資産合計	6,708,918	7,782,922

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
売上高	6,860,548	10,284,898
売上原価	3,735,011	5,750,037
売上総利益	3,125,536	4,534,860
販売費及び一般管理費	2,915,790	4,085,312
営業利益	209,745	449,548
営業外収益		
受取利息	89	176
受取配当金	68	108
受取賃貸料	2,594	1,701
協賛金収入	6,084	6,202
受取補償金	—	5,806
その他	2,950	2,076
営業外収益合計	11,786	16,072
営業外費用		
支払利息	5,097	5,259
社債利息	433	—
為替差損	2,553	5,200
その他	2,041	9,585
営業外費用合計	10,125	20,045
経常利益	211,407	445,575
特別利益		
新株予約権戻入益	17	157
固定資産売却益	—	1,205
特別利益合計	17	1,363
特別損失		
固定資産除却損	11,601	6,575
減損損失	2,352	—
特別損失合計	13,953	6,575
税引前四半期純利益	197,471	440,363
法人税、住民税及び事業税	41,586	206,048
法人税等調整額	66,424	△2,625
法人税等合計	108,010	203,422
四半期純利益	89,460	236,940

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	197,471	440,363
減価償却費	131,068	206,741
減損損失	2,352	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5,173	—
受取利息及び受取配当金	△157	△284
支払利息	5,531	5,259
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△1,205
有形固定資産除却損	11,601	6,575
売上債権の増減額(△は増加)	55,740	60,340
たな卸資産の増減額(△は増加)	△58,840	△1,126
仕入債務の増減額(△は減少)	385,606	92,585
未払金の増減額(△は減少)	28,055	△18,914
預り金の増減額(△は減少)	44,349	92,475
その他	83,081	155,095
小計	880,685	1,037,906
利息及び配当金の受取額	157	284
利息の支払額	△5,533	△5,665
法人税等の支払額	△56,198	△180,023
営業活動によるキャッシュ・フロー	819,111	852,501
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△665,204	△596,902
有形固定資産の売却による収入	—	1,256
無形固定資産の取得による支出	△248	△2,390
敷金及び保証金の差入による支出	△327,827	△136,962
敷金及び保証金の回収による収入	79,286	44,274
預り保証金の返還による支出	△6,200	△9,962
預り保証金の受入による収入	9,800	34,628
その他	△31,432	△36,207
投資活動によるキャッシュ・フロー	△941,825	△702,265
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	10,668	66,000
長期借入れによる収入	525,000	750,000
長期借入金の返済による支出	△161,761	△256,156
社債の償還による支出	△21,600	—
株式の発行による収入	496,195	18,423
担保預金の払戻による収入	—	10,000
配当金の支払額	△59,088	△97,550
自己株式の取得による支出	△62	—
新株予約権の発行による収入	—	2,405
財務活動によるキャッシュ・フロー	789,351	493,123
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	666,637	643,359
現金及び現金同等物の期首残高	934,264	1,599,940
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,600,902	2,243,299

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)

株主資本の金額の著しい変動

当社は、当第2四半期累計期間において、第4回、第5回のストック・オプションの行使及びマイルストーン
キャピタル マネジメント株式会社から新株予約権の行使を受けました。この結果、当第2四半期累計期間にお
いて、資本金が250,342千円、資本準備金が250,342千円増加し、当第2四半期会計期間末において資本金が
1,084,579千円、資本準備金が365,093千円となっております。

当第2四半期累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	四半期損益 計算書計上額 (注2)
	ペッパー ランチ事業	レストラン 事業	いきなり! ステーキ事業	商品販売事業			
売上高 外部顧客へ の売上高	2,470,375	1,184,447	3,186,510	19,214	6,860,548	—	6,860,548
計	2,470,375	1,184,447	3,186,510	19,214	6,860,548	—	6,860,548
セグメント利益 又はセグメント 損失(△)	412,159	72,956	190,063	△60	675,119	△465,373	209,745

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△465,373千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「ペッパーランチ事業」において、当第2四半期累計期間に使用範囲の変更により回収可能額を著しく低下させる変化があった店舗資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期累計期間においては2,352千円です。

当第2四半期累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	四半期損益 計算書計上額 (注2)
	ペッパー ランチ事業	レストラン 事業	いきなり! ステーキ事業	商品販売事業			
売上高 外部顧客へ の売上高	2,720,637	1,118,400	6,420,451	25,409	10,284,898	—	10,284,898
計	2,720,637	1,118,400	6,420,451	25,409	10,284,898	—	10,284,898
セグメント利益 又はセグメント 損失(△)	494,836	62,216	400,545	△1,851	955,747	△506,198	449,548

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△506,198千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項ありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。